

# 今後の渇水対策について

令和4年7月21日時点

## (現状認識)

旭川水系の主要2ダム(湯原及び旭川ダム)の7月20日(水)午前9時現在の貯水量は、6,344万 $m^3$ (63.0%)です。

7月4日から実施している取水制限、7月に入ってから降雨により、ダム貯水率も回復してきているところであり、社会的影響が大きい取水制限について、今後の取水制限の継続、緩和について対応を検討する状況であると考えられます。

## (今後の取り組み)

このような状況から、関係機関は相互に他の水利使用を尊重し協力・連携を密にして、以下の取り組みを行います。

1. 各関係機関相互間において、雨量、各ダムの貯水量、河川流況等の状況を把握し情報共有を図る。

また、岡山河川事務所においては、ホームページ等を通じて情報提供を行う。

2. 各関係機関においては、必要に応じて広報を行う。

3. 利水者は、現在実施している取水制限を7月22日9時より一時解除する。

次回協議会は、貯水率が40%程度になる場合に開催を考えています。

また、取水制限の変更等を検討する必要がある場合には、協議会の開催を考えます。